



2026年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年2月5日

上場会社名 日本精鉱株式会社 上場取引所 東
コード番号 5729 U R L <https://www.nihonseiko.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植田 憲高
問合せ先責任者 (役職名) 取締役企画管理部長 (氏名) 大西 芳太郎 T E L 03-3235-0021
配当支払開始予定日 －
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2026年3月期第3四半期の連結業績（2025年4月1日～2025年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
2026年3月期第3四半期	百万円 31,490	% 81.7	百万円 6,263	% 256.6	百万円 6,212	% 264.2	百万円 4,314	% 263.3
2025年3月期第3四半期	17,334	50.5	1,756	317.3	1,705	286.6	1,187	275.1

(注) 包括利益 2026年3月期第3四半期 4,352百万円 (266.3%) 2025年3月期第3四半期 1,188百万円 (252.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
2026年3月期第3四半期	円 銭 1,761.74	円 銭 －
2025年3月期第3四半期	485.63	－

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
2026年3月期第3四半期	百万円 23,946	百万円 15,544	% 64.9
2025年3月期	20,937	11,932	57.0

(参考) 自己資本 2026年3月期第3四半期 15,544百万円 2025年3月期 11,932百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
2025年3月期	円 銭 －	円 銭 60.00	円 銭 －	円 銭 140.00	円 銭 200.00
2026年3月期	－	170.00	－		
2026年3月期（予想）				170.00	340.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
通期	百万円 40,200	% 59.7	百万円 5,300	% 47.3	百万円 5,200	% 47.3	百万円 3,550	% 44.5

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 一社 (社名)、除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年3月期 3Q	2,605,900株	2025年3月期	2,605,900株
② 期末自己株式数	2026年3月期 3Q	155,043株	2025年3月期	158,617株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2026年3月期 3Q	2,449,261株	2025年3月期 3Q	2,445,895株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績の前提となる条件については、添付資料P.3の「1. 経営成績等の概況（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」に記載の通りです。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当四半期の経営成績の概況	2
(2) 当四半期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	6
四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(セグメント情報等の注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	8

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

当第3四半期連結累計期間（以下「当第3四半期」）におけるわが国経済は、雇用・所得環境の改善や政府の経済対策等により緩やかに回復の動きが続いています。一方、円安の進行や国内物価の上昇による消費の下振れ懸念に加え、世界的な物価上昇の継続と金融資本市場の変動の影響、世界的な地政学的リスクの高まり、米国通商政策の不確実性など、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような環境下、当社グループは、当社創立100周年となる2035年時点のありたい姿を想定し設定した長期ビジョンに基づき、2025年4月よりスタートした「第2の創生（創立100周年）に向けた基盤づくりのための挑戦と変革」をテーマとする3カ年の中期経営戦略において、「グループ連携の更なる強化」「既存事業の競争力強化とグローバル展開への挑戦」「最適な事業ポートフォリオの構築と新規事業の創出」「人的資本の充実とESGへの取り組み」という基本方針のもと、持続的成長と中長期的な企業価値向上に取り組んでおります。

これらの結果、当第3四半期の売上高は前年同期比14,156百万円増収（81.7%増収）の31,490百万円、営業利益は同4,507百万円増益（256.6%増益）の6,263百万円、経常利益は同4,506百万円増益（264.2%増益）の6,212百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同3,127百万円増益（263.3%増益）の4,314百万円となりました。

セグメントごとの業況は次のとおりです。

[アンチモン事業]

同事業の原料であり、製品販売価格の基準ともなるアンチモン地金の国際相場は、主産地である中国において、国内外のアンチモン鉱石不足や環境監査などによる地金生産の減少、太陽光パネル向け需要の拡大などにより急速に需給が逼迫し、相場が急上昇しました。また中国当局が2024年9月15日よりアンチモン地金の輸出管理を実施するとの公告を発表し、同年12月3日には対米輸出は原則として許可しないと発表したことを受け、市場では最高値の更新が相次いでいましたが、中国国外でのアンチモン鉱石の採掘と製錬の増加によるアンチモン地金供給が徐々に増加してきたことにより、第1四半期末をピークとして、第2四半期以降は下落基調で推移しています。当第3四半期の平均価格は、トン当たり約53,290ドルとなり、前年同期比約104%の上昇、円建てでは同約99%の上昇となりました。なお、第3四半期の平均価格は第2四半期の平均価格に比べ、ドル建てで約22%の下落、円建てで約19%の下落となっております。

同事業の主製品である三酸化アンチモンには様々な用途があります。主たる用途は、プラスチック材料の難燃剤です。プラスチックは、自動車、家電、産業機械、住宅などに用いられる電化製品の電気絶縁材料として広く用いられていますが、一般に燃えやすい性質を持っています。そのようなプラスチックにハロゲン系難燃剤と共に三酸化アンチモンを添加することで、高い難燃性を付与して電気機器の短絡や劣化による発火のリスクを減らし、火災による人的被害や経済的損失を防止することに大きく貢献しています。

同事業の販売状況につきましては、製造業全般の生産がやや軟調に推移し、さらに中国などからのOEM品の調達が困難となったことから、販売数量は前年同期比543トン減少（15.5%減少）の2,967トンとなりました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、販売価格の上昇から、前年同期比13,713百万円増収（138.0%増収）の23,652百万円となりました。セグメント利益は、生産効率の改善や在庫の影響もあり、同4,624百万円増益（362.0%増益）の5,902百万円となりました。

[金属粉末事業]

同事業の主原料である銅の国内建値は、当第3四半期平均でトン当たり約1,558千円となり、前年同期比5.2%の上昇となりました。

同事業の主製品は、電子部品の導電材料向け銅および他の金属粉末、パワーインダクタ向けの鉄系合金粉、自動車部品や産業機械部品などの粉末冶金製品向けの焼結材料としての金属粉末で、各種製品の高機能化や利便性に貢献しています。

また、DXの推進、IoTやAIの活用、5G対応端末の普及、自動車のEV化やエレクトロニクス化の流れなどを背景に電子部品のニーズは高まっています。

電子部品向け金属粉末の販売状況につきましては、ハイエンドのスマートフォンやAIサーバー市場向けは堅調に推移しましたが、ローエンドのスマートフォンや自動車関連市場向けでは競合が激しく、販売数量は前年同期比77トン減少（10.0%減少）の691トンとなりました。

粉末冶金向け金属粉末の販売状況につきましては、自動車部品向けが低調であったことから販売数量は前年同期比134トン減少（12.2%減少）の959トンとなりました。

全体の販売数量は前年同期比211トン減少（11.3%減少）の1,650トンとなりました。

その結果、同事業の当第3四半期の売上高は、銀相場高騰を受けた銀粉販売価格の上昇により、前年同期比440百万円増収（6.0%増収）の7,809百万円となりました。セグメント利益は、受注減少による操業度低下等から同117百万円減益（26.0%減益）の334百万円となりました。

[その他]

不動産賃貸事業等の当第3四半期の売上高は28百万円、セグメント利益は1百万円となりました。

(2) 当四半期の財政状態の概況

(資産)

当第3四半期末の資産合計は、前連結会計年度末比3,008百万円増加の23,946百万円となりました。

流動資産は前連結会計年度末比2,745百万円増加の17,718百万円となりました。これは主に現金及び預金が1,420百万円、商品及び製品が1,342百万円増加したことによるものであります。

固定資産は前連結会計年度末比263百万円増加の6,228百万円となりました。これは主に有形固定資産が232百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第3四半期末の負債合計は、前連結会計年度末比603百万円減少の8,401百万円となりました。

流動負債は前連結会計年度末比1,100百万円減少の6,442百万円となりました。これは主に短期借入金が1,202百万円、支払手形及び買掛金が550百万円減少したことによるものであります。

固定負債は前連結会計年度末比497百万円増加の1,959百万円となりました。これは主に長期借入金が498百万円増加したことによるものであります。

(純資産)

当第3四半期末の純資産合計は、前連結会計年度末比3,612百万円増加の15,544百万円となりました。これは主に利益剰余金が配当により759百万円減少しましたが、親会社株主に帰属する四半期純利益により4,314百万円増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想につきましては、2025年9月24日に公表いたしました業績予想からの変更はございません。なお、業績予想の修正が必要と判断した時点で、速やかに開示いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
資産の部		
流动資産		
現金及び預金	2,128,680	3,549,390
受取手形及び売掛金	5,109,073	5,261,872
商品及び製品	3,823,709	5,166,657
仕掛品	404,737	426,815
原材料及び貯蔵品	3,100,380	3,066,189
その他	423,614	264,541
貸倒引当金	△17,346	△17,391
流动資産合計	14,972,851	17,718,075
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,483,130	2,494,025
機械装置及び運搬具（純額）	937,612	935,272
土地	1,436,191	1,436,191
その他（純額）	424,175	647,704
有形固定資産合計	5,281,110	5,513,194
無形固定資産	136,406	125,507
投資その他の資産	547,184	589,700
固定資産合計	5,964,701	6,228,403
資産合計	20,937,553	23,946,478

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2025年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,388,240	1,837,925
電子記録債務	333,459	368,467
短期借入金	2,965,100	1,762,656
未払法人税等	1,121,760	1,347,023
賞与引当金	252,515	135,127
その他	481,238	990,876
流動負債合計	7,542,314	6,442,075
固定負債		
長期借入金	726,400	1,225,168
退職給付に係る負債	365,295	359,345
資産除去債務	38,391	38,783
その他	332,310	336,237
固定負債合計	1,462,397	1,959,534
負債合計	9,004,711	8,401,610
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,018,126	1,018,126
資本剰余金	580,107	597,130
利益剰余金	10,412,225	13,967,902
自己株式	△149,730	△148,152
株主資本合計	11,860,730	15,435,007
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	54,382	94,191
為替換算調整勘定	17,728	15,669
その他の包括利益累計額合計	72,111	109,860
純資産合計	11,932,841	15,544,868
負債純資産合計	20,937,553	23,946,478

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
売上高	17,334,050	31,490,806
売上原価	14,663,436	24,133,400
売上総利益	2,670,614	7,357,406
販売費及び一般管理費	914,400	1,093,897
営業利益	1,756,214	6,263,508
営業外収益		
受取配当金	5,184	7,632
助成金収入	4,778	8,513
保険解約返戻金	8,550	9,107
その他	4,031	11,174
営業外収益合計	22,544	36,427
営業外費用		
支払利息	28,550	60,049
為替差損	30,058	18,930
休止鉱山費用	13,826	7,516
その他	487	1,199
営業外費用合計	72,922	87,695
経常利益	1,705,835	6,212,240
特別利益		
固定資産売却益	835	—
特別利益合計	835	—
特別損失		
固定資産除却損	615	2,977
特別損失合計	615	2,977
税金等調整前四半期純利益	1,706,055	6,209,262
法人税、住民税及び事業税	514,941	1,867,819
法人税等調整額	3,303	26,491
法人税等合計	518,244	1,894,310
四半期純利益	1,187,811	4,314,951
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,187,811	4,314,951

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年12月31日)
四半期純利益	1,187,811	4,314,951
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110	39,808
為替換算調整勘定	717	△2,058
その他他の包括利益合計	607	37,749
四半期包括利益	1,188,418	4,352,701
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,188,418	4,352,701

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自2024年4月1日 至2024年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	9,939,462	7,369,160	17,308,623	25,427	17,334,050	—	17,334,050
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	2,213	36,505	38,719	1,247	39,966	△39,966	—
計	9,941,676	7,405,666	17,347,342	26,674	17,374,017	△39,966	17,334,050
セグメント利益	1,277,682	452,465	1,730,147	3,186	1,733,334	22,879	1,756,214

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額22,879千円はセグメント間取引の消去22,879千円であります。

II 当第3四半期連結累計期間（自2025年4月1日 至2025年12月31日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額
	アンチモン 事業	金属粉末 事業	計				
売上高							
外部顧客への 売上高	23,652,881	7,809,875	31,462,756	28,049	31,490,806	—	31,490,806
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	—	46,915	46,915	1,218	48,133	△48,133	—
計	23,652,881	7,856,790	31,509,672	29,268	31,538,940	△48,133	31,490,806
セグメント利益	5,902,616	334,849	6,237,465	1,327	6,238,792	24,715	6,263,508

(注) 1. 上記の報告セグメントに含めていない、不動産賃貸事業等であります。

2. セグメント利益の調整額24,715千円はセグメント間取引の消去24,715千円であります。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

前第3四半期連結累計期間
(自 2024年4月1日
至 2024年12月31日)当第3四半期連結累計期間
(自 2025年4月1日
至 2025年12月31日)

減価償却費

493,038千円

479,010千円